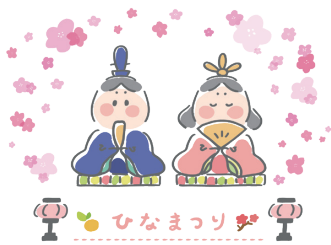


ワクワク通信

お客様とイバセキを結ぶホットライン



IBASEKI
3月号 2025
発行元：茨石商事株式会社
TEL: 0299-24-2680
http://www.ibaseki.com



タイ料理 ミシュラン「ビブグルマン」受賞の味を石岡で

GINGER FARM KITCHEN

ジンジャー・ファーム・キッチン



石岡に素敵な店が出来ました。「ジンジャーファームキッチン」さんは、本国タイのチェンマイに母店があり、**ミシュラン「ビブグルマン」を4年連続で受賞している名店**です。筆者は自宅でタイ料理を作ったり、若い時から都内のいろいろなタイ料理屋を巡ったりしておりました。そんな舌が肥えている私の感想は「最高」です。お手頃な価格で本物を味わえる、特に茨城では貴重なお店だと思います。

店内は明るく、女性好みのナチュラルテイストでおしゃれな空間です。20名ほどの席数でゆったり食事ができ、取材に伺った際もお客さんが途切れることなく来店されていましたが、混み合う印象はありません。料理は6品頂きましたが、とりわけ美味しかったのが「目玉焼き豚ひき肉のバジル炒め」と「グリーンカレー」でした。他にも気になるメニューがたくさんありますが、最初はこの2品をお勧めします。飲食店舗の横にはタイ料理の食材や調味料など豊富な物販店もありますので、こちらも要チェックです。最後に、タイ国公式の観光ホームページに、ジンジャーファームキッチンさんが取り上げられていますので、ご紹介しておきます。

大好きなタイ料理の本物の味に触れた為、いっ
なく真面目な紹介記事になりました。是非ご賞味
きたいと思います。

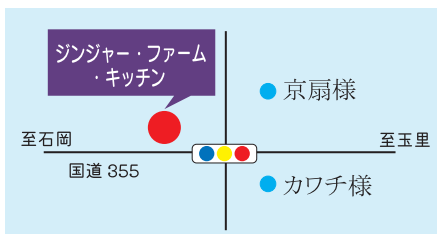


目玉焼き豚ひき肉のバジル炒め



GINGER FARM KITCHEN

石岡市東石岡4丁目11-29



当面定休日なし
11:30 ~ L.O 22:30



タイ国公式観光 HP



グリーンカレー



鶏肉とカシューナッツ炒め



第13回 茨石ゴルフコンペ 開催のご案内

昨年に続きまして、本年もイバセキゴルフコンペを開催いたします。初夏の陽気を感じながら一緒に楽しく、爽やかにラウンドしませんか？概要は以下となっております。ご希望の方はお電話にてお申込みください。皆様お誘いあわせの上、奮ってご参加下さいませ。



| | | | |
|------|---|-----|--|
| 開催日時 | 2025年5月13日(火) | 賞品 | 新ペリア方式にて順位決定 |
| コース | 石岡ウェストカントリークラブ 笠間市上郷 3355 TEL: 0299-45-3775 | 事務局 | 茨石商事株式会社 担当: 中村 TEL: 0299-24-2680 携帯: 070-4202-7028 (中村) |
| 概要 | 組合せ: 10組(後日あるいは当日発表) 参加費: 1,500円 プレイ代: 約8,000円 | | |

お申込み期日 4/30(水)



激走 中村瑠偉

マラソン体験記



去る2月16日に「第2回石岡つくばねハーフマラソン大会」が開催されました。私中村が、当社を代表して、初めてのハーフマラソンに挑戦してきました。

当日は快晴に恵まれ、絶好のマラソン日和。ワクワクと不安な気持ちを胸に、いよいよスタートです（当社の前がスタート&ゴール）。このときの一斉に走り出す瞬間はなんともいえない高揚感がありました。

まずは駅前の御幸通り、中町商店街を走ります。レトロな町並みと沿道からのたくさんの方の声援に、自然とペースも上がっていきます。

風土記の丘を越え10㍻地点を過ぎると、このマラソンの名物、激坂！「鬼越峠」が待ち構えます。キツイ坂だとなる程度の想定はしていましたが、実際に走ってみるとこれが想像以上。私だけでなく、それまで軽快に走っていた周りのランナーも段々歩き始め、そんな私達を尻目に、折り返してきた順天堂大学の選手たちが颯爽と走り抜けていきます。

折り返し地点付近では、雄大な田園風景と筑波山を堪能でき最高に気持ち良かった！と言いたいところですが、正直私はそれどころではありませんでした。

給水所では八郷のイチゴをいただき、回復。これがホントに美味しかった。レース後半はとにかく気合！満身創痍の状態でなんとか完走することができました。

なかなかハードでしたが、景色もコースも変化に富んでいて、石岡の魅力が感じられるマラソンだったと思います。また、沿道の応援がとても多く、そして長い時間応援してくださっているのが伝わり、地域の一体感が嬉しく感じました。来年は5㍻の部で参加したいと思っています。



当社前の様子



当社駐車場で獅子舞披露



ふるさと紀行



「足尾神社」里宮の社殿

石岡市「足尾神社」

そこで、醍醐天皇は、紙に足形を印し、「日本最初足尾神社」の勅額を下賜し、その時から「足尾山」と改称したことが始まりと云われている。その後、足の諸痛に悩む人々の参詣が多くなり、全快すると鉄の草履などが神社に奉納されるようになっていった。足の病に霊験があるとされ、草鞋、靴、義足などが多数奉納されている。

石岡市の旧八郷町に位置する「足尾山」は、標高628mの山である。筑波山を中心とする筑波連山の中では、筑波山(877m)、加波山(709m)、燕山(701m)に次いで標高が高い。『常陸国風土記』では、葦穂山(おはつせ山)と記されており、古くから知られていた。また、加波山と共に天狗の山として知られるようになった。現在、山頂には「足尾神社」本殿が、その少し下に拝殿が鎮座している。また、東の麓に位置する、石岡市小屋には、「足尾神社」の里宮と、かつて足尾神社の別当だった「大岩寺」がある。

「足尾神社」の創建時期は不明であるが、縁起によると、平安時代に第9代醍醐天皇(在位897~900年)が足の痛みで苦しんでいたとき、夢に「足尾の神」が現れたので、足尾山を遥拝したところ、たちまち快癒した。

山頂にある本殿は、台状の石組みの中央に奥宮が鎮座しており、祠の土台には「葦穂山」と刻まれている。奥宮の真後ろには、加波山山頂を、西には筑波山。その右手奥には富士山を望むことができ、山頂からの見晴らしは神秘的な景色を眺望することができる。